

一般財団法人ニチレイ MIRAIterrace 財団

2026年度 事業計画書

1. 事業内容

(1) 食を通した居場所づくりに取り組む団体への支援

(目的)

食を通した社会課題を解決することは、健康に良い影響を与えるだけでなく、豊かな人生を送り、人々に心の満足を提供することにも繋がります。

当財団は、子どもから高齢者までの食生活や健康増進に貢献し、食を通した居場所づくりに取り組まれている団体を支援します。

(実施すること)

① 助成団体公募事業

本事業は、こども食堂や高齢者向け配食サービス、食育体験などの活動に取り組まれている団体や、これらの取り組みを支援するこども食堂ネットワーク、サポートセンター、フードバンク、物流拠点など関連団体の継続的な発展を願い、食材購入費や運営費など、安定した活動継続に必要な経費の一部を助成対象として支援します。

② 「ミールズ・オン・ホイールズロジシステム」プロジェクトへの支援

全国のこども食堂や様々な「居場所」で、子どもから高齢者まで誰もが食事を得られる環境をサポートするシステム、および食支援を行う団体や自治体から食品寄贈が受けやすいよう、冷凍・冷蔵設備を含む保管スペースをもつ拠点を全国に整備し流通をサポートする WEB システムの開発や、企業・行政への学習会などを開催しているプロジェクトに対し、食支援活動を推進するうえで必要なインフラ整備や運営に必要な費用を支援します。

③ 災害被災地で食を通した居場所づくりに取り組まれている団体への支援

国内災害被災地において、食事や安心して過ごせる場所、コミュニティの提供に取り組まれている団体に対して、日常生活を一日も早く取り戻す手助けとなるよう、復興のための継続的な活動資金の一部を支援します。

(2) 災害発生被災地（国内）への支援

(目的)

災害被災地域の住民の方々が一日も早く日常生活を取り戻せるよう支援します。

(実施すること)

日本赤十字社にて国内災害義援金の受付が開始された場合、一律 100 万円の義援金を実施します。

(3) ふれあい助成事業

(目的)

株式会社ニチレイの有志従業員と会社が賛同金を出し合うマッチングギフト制度により集められた資金を活動原資として、様々な理由でハンディキャップを抱えた人々に対して社会福祉や人道的な観点で寄り添われている団体に対して支援します。

(実施すること)

支援団体の皆様とのコミュニケーションを通じて、社会福祉分野ならびに海外・医療分野における喫緊の課題を共に考えながら課題解決にむけて必要な費用を支援します。

2. 助成計画

助成金総額 30,375,000 円

(※) 財団の事務局は、株式会社ニチレイより事務支援を受けています。

3. 2026 年度収支予算

単位：円

科 目	予算額	備 考
(基本財産)		
基本財産の振替額	3,000,000	
前年度繰越金	1,450,000	見込
前年度繰越金 (ふれあい)	155,000	
寄付金	28,000,000	
寄付金 (ふれあい)	4,020,000	見込
【経常収益】	36,625,000	
(事業費)		
支払助成金	26,250,000	
支払助成金 (ふれあい)	4,125,000	
旅費交通費	530,000	
雑費	1,992,160	
【経常費用】	32,897,160	
当期収支差額	3,727,840	ふれあい込
基本財産への振替額	△ 3,000,000	
次期繰越収支差額	727,840	ふれあい込

以上